



フェイスブックでは、さらに阿南市や地域の出来事をチェックできます！

News Oasis



B & G 財団からの助成が決定

老朽化により改修工事を予定している阿南市那賀川B&G海洋センター体育館に対して、B&G財団より修繕助成金3,000万円が交付されることとなりました。7月20日に、市役所市長公室で行われた修繕助成決定書授与式で、B&G財団理事長の菅原悟志さんより表原市長へ、修繕助成決定書が手渡されました。



高齢者等見守りに関する協定を締結

本市は、水道料金徴収等を委託しているヴェオリア・ジェネッツ株式会社と「高齢者等見守り活動に関する協定」を締結しました。同社社員が業務中に、高齢者宅に生活上の異変に気付いた場合に、市役所や高齢者お世話センターに連絡いただくことで、緊急事態に適切かつ速やかに対応することができます。



科学をたっぷり楽しもう！

科学センターにて、実験や生物の標本作りなどを通して科学のおもしろさを学ぶサマーサイエンススクールが実施され、児童・生徒41人が参加しました。7月26日は、センター周辺で、草や花、樹木などのさまざまな植物を採取しました。参加者は植物の種類を図鑑で熱心に調べていました。



コロナ退散 人形で虫送り

桑野川堤防で夏の風物詩となっている、稲の害虫を追い払って豊作を祈る農村行事「実盛さんの虫送り」が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になったことから、人形劇団「梅星座」が人形を使って虫送行列を再現し、長生公民館に設置しました。来館者は表情豊かな人形に見入っていました。



総合計画審議会から答申を受ける

令和3年度から8年間を計画期間とする（仮称）第6次阿南市総合計画基本構想（素案）について、有識者等で組織する阿南市総合計画審議会（右：平山会長、左：山本職務代理者）から表原市長に答申が行われました。これを受け、市では、基本構想を作成し、市議会9月定例会に議案として提出しました。



市職員が豪雨被災地で支援活動

令和2年7月豪雨の被災地を支援するため、徳島県保健師チームの一員として保健センターの片山美寿江さんが、7月19日から23日まで熊本県芦北町で支援活動を行いました。被災者の健康調査を行った片山さんは、「活動で学んだことを、仲間に伝え、災害時に備えていきたい」と話しました。